|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 学科・学年・学級 |  |

**１　学習の到達目標**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | |
| **知識及び技能** | **思考力，判断力，表現力等** | **学びに向かう力，人間性等** |
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

**２　使用教科書など**

|  |  |
| --- | --- |
| **使用教科書** | 東京書籍「精選言語文化」（言文702） |
| **副教材など** | 「精選言語文化学習課題ノート」（準拠ノート）／「新総合図説国語」／「新精選古典文法」／「新精選古典文法　準拠ノート」／「新精選古典文法　演習ノート」／「新精選古典文法　実戦ノート」／「新徹底理解高校漢文」／「新徹底理解高校漢文ワーク」／古語辞典／その他，Dマークコンテンツ（教科書），指導用DVD-ROM収録の補助資料など |

**３　評価の３観点と学習指導要領との対応**

平成30年告示の学習指導要領では，評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３つとなった。

　学習指導要領との対応は以下のとおりである。

　・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。

　・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕について指導したことを評価する。

　・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが，次の２つの側面を評価することが求められている。

　　①知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。

　　②①の粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとする側面。

**４　「年間指導計画例」の見方**

　本資料の各項目の概要は，以下のとおりです。

**《薄いグレーの見出し》**

・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

**《領域・教材名・ページ数・配当時数》**

・領域（読む／書く），教材名，ページ数，配当時数を示した。

**《学習指導要領との対応》**

・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

**記号の意味**

［知技］ 「知識及び技能」の指導事項

［思判表］ 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

**《学習目標》**

・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

**《学習活動例》**

・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

**記号の説明**

＊ 指導上の留意点や別案

D Dマークコンテンツの活用

**《評価規準例》**

・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点による評価規準例を示した。

・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。

・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。

・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。

・「主体的に学習に取り組む態度」は，次の４つの内容を全て含め，各教材の目標や学習内容等に応じて，その組み合わせを工夫しながら設定している。また，文末は「～しようとしている。」とした。

①粘り強さ〈積極的に，進んで，粘り強く等〉

②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって，学習課題に沿って，今までの学習を生かして等〉

③他の２観点において重点とする内容（特に，粘り強さを発揮してほしい内容）

④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

**記号の意味**

［知技］ 「知識・技能」の評価規準例

［思判表］ 「思考・判断・表現」の評価規準例

［主］ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

**◆年間指導計画例**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 領域・教材名  ページ数・配当時数 | 学習指導要領との対応 | 学習目標 | 学習活動例  （＊は指導上の留意点など） | 評価規準例 |
| ■１学期 | | | | |
| 現代文編１　随筆（４月） | | | | |
| 読む  言葉を届ける  Ｐ10  １時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ | ・恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して，随筆を読み味わう。 | １恋愛をテーマにした作品（小説・詩・短歌など）で印象に残っているものについて発表する。  ２それぞれの短歌に詠まれた愛の在り方に注意しながら，本文を通読する。（手引き１）  ３「花水木の…」の短歌から筆者がどのようなことを考えているか捉える。（手引き２）  ４「やは肌の…」と「道を云はず…」の短歌から筆者がどのようなことを考えているか，時代背景を踏まえて捉える。（手引き３）  ５「年を経て…」の短歌に対する筆者の見解を踏まえて，最終段落の「普遍的な願い」とはどのようなものか考える。（手引き４） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ［主］進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて随筆を読み味わい，学習課題に沿って，恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解を捉えようとしている。 |
| 読む  耳覚めの季節〔言語〕  Ｐ15  ２時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，オ | ・耳から入ってきた言葉との出会いについて書かれた随筆を，具体例に注意して読み取る。 | **＜第１時＞**  １「耳覚め」とはどのようなことだと思うか発表する。  ２話題の展開に注意しながら，本文を通読する。（手引き１）  ３寄席で落語を聴く筆者が，どのようなことを感じているか捉える。（手引き２）  **＜第２時＞**  １「へっつい幽霊」を聴いた筆者の未知の言葉との出会いについて考える。（手引き３）  ２「耳覚めのときが来た」〔一九・１〕とはどのようなことか考える。（手引き４）  ３「どこかでつながっているような気がするのだ。」〔一九・４〕とはどのようなことか，また，そのように述べる筆者の思いについて考える。（手引き５）  ４耳から聞いて興味を持った言葉について話し合う。（言語活動） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，学習課題に沿って，筆者の「耳覚め」についての体験や考えを読み取り，筆者の思いについて考えようとしている。 |
| 古文編１　古文入門（４月） | | | | |
| 読む  児のそら寝  Ｐ106  ●古文学習のしるべ１  古文の言葉と仮名遣い  Ｐ108  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア  ［知技］⑵ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・歴史的仮名遣いについて理解し，説話のおもしろさを読み取る。 | □古文と現代文の違いについて確認する。  □説話というジャンルについて理解する。  １本文を音読し，歴史的仮名遣いに慣れる。（手引き１・古文学習のしるべ１）  ２児の気持ちの変化を整理し，最後の描写の意味について考える。（手引き２・３）  ３現代語訳する際の注意点を理解する。（古文学習のしるべ１） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ［主］進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。 |
| 読む  用光と白波  Ｐ110  ●古文学習のしるべ２  古語を調べるために  Ｐ112  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア  ［知技］⑵ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・文語の品詞について理解し，登場人物の心情を読み取る。 | １歴史的仮名遣いに留意し，本文を音読する。  ２用光と海賊の行動及び心情を読み取る。（手引き１・２）  ３話末評語の意味と作者の意図を考える。（手引き３）  ４古語の品詞や活用について理解し，古語辞典の引き方に慣れる。（古文学習のしるべ１・２） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ［主］進んで文語の品詞について理解し，学習課題に沿って登場人物の心情を読み取ろうとしている。 |
| 読む  絵仏師良秀  Ｐ114  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・文語の活用について理解し，叙述を基に人物像を読み取る。 | １語の意味を確認しながら本文を音読する。  ２人々と良秀の言動を読み取る。  ３良秀の人物像について考える。（手引き１・２）  ４用言の活用，係り結び，接続助詞「ば」の用法を理解する。（語句と表現１・古文学習のしるべ２・３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ［主］進んで文語の活用について理解し，学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。 |
| 読む  大江山の歌  Ｐ116  ●古文学習のしるべ３  係り結び／仮定条件と確定条件  Ｐ118  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア  ［知技］⑵ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・文語のきまりに注意しながら，登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。 | １主語に注意しながら本文を音読する。  ２定頼中納言の言動の内容を把握する。（手引き1・３）  ３小式部内侍のとった行動，詠んだ和歌の内容を理解する。（手引き２）  ４用言の活用を確かめる。（語句と表現１・古文学習のしるべ２）  □四つの説話の中から，興味・関心を持った作品について，グループごとに話し合い，その結果を発表する。  □古文を読む基礎について確認する。（古文学習のしるべ１・２・３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ［主］進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し，学習課題に沿って登場人物の言動と和歌の内容を読み取ろうとしている。 |
| 漢文編１　漢文入門（５月） | | | | |
| 読む  訓読の基本  Ｐ230  〔言語〕漢字の読みと意味―漢和辞典を活用しよう  Ｐ239  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア  ［知技］⑴イ，ウ／⑵エ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。  ・漢和辞典の使い方を知り，漢字の読みと意味の関係について理解する。 | □中学校で学習した故事成語・唐詩・『論語』を発表し，高校での漢文学習への意識付けを図る。  □「訓読」の導入文を読み，漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり，その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。  **【訓読】**  １基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。  ２基本構造「修飾語・被修飾語」を理解し，句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。  ３基本構造「述語・目的語（補語）」と返り点について理解し，書き下した上で現代語訳する。（手引き１）  ４漢文訓読に関する専門的な知識および漢文の基本構造について確認する。（手引き２）  **【格言】**  １前半の七つの格言を音読し，既習の訓点の知識を確認し，返読文字と一レ点の用法について理解する。（手引き１・２・書き下し文のきまり）  ２後半の五つの格言を音読し，助字，置き字と上・中・下点の用法について理解する。（主な置き字とその用法）  ３「訓読」で学習した訓点の知識に加え，返り点，返読文字，置き字について整理した上で書き下し文にし，また，漢文の意味を考えて訓点を施す。（手引き１・２・３・書き下し文のきまり）  **【再読文字】**  １「未来」「将来」の熟語から，再読文字の用法を理解する。  ２「再読文字」の漢文を，訓点に従って音読し，書き下し，現代語訳して，各再読文字の用法について確認する。（書き下し文のきまり・再読文字の種類と用法）  ３「学習の手引き１・２」に取り組み，再読文字の用法に慣れる。（手引き１・２）  １「格言」の十二の格言と，「再読文字」の八つの漢文の中から，それぞれ興味・関心を持った漢文を使った例文を作り，話し合う。  ２漢文訓読に関する基礎知識について復習する。  □「言語活動　漢字の読みと意味　漢和辞典を活用しよう」を利用して，漢和辞典の項目と利用法を確認する。（言語活動　課題１・２）  □漢字の読みと意味の関係を確認し，漢字への理解を深める。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ［主］進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 |
| 読む  故事成語―三編〔言語〕  Ｐ240  ■漢文の窓１  　『韓非子』の寓話のねらい  Ｐ241  ■漢文の窓２  　「助字」―漢文理解の鍵  Ｐ244  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア，エ，オ  読むこと⑵イ  ［知技］⑵イ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア  ［知技］⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。 | □中学校で学習した故事成語をどのように学んだか発表し，故事成語を再確認する。  □知っている「故事成語」を，国語便覧等を使いグループで調べ，意味や背景について理解を広げる。  **【矛盾】**  １本文を繰り返し音読し，正しく書き下し文を書くことで，書き下し文のきまりを確認する。  ２脚注や語句・句法の説明を手がかりに現代語訳し，内容を整理する。（手引き１・２）  ３「矛盾」の意味を確認し，「矛盾」を使った短文を書く。（語句と表現１）  ４『韓非子』において「矛盾」が儒家批判のための寓話であったことを理解する。（漢文の窓１）  **【助長】**  １訓点に従って正確に読めるようになるまで，繰り返し音読する。  ２書き下し文を書くことで，書き下し文のきまりを確認する。（手引き１）  ３脚注や語句・句法の説明を手がかりに現代語訳し，内容を整理する。（手引き２）  ４「助長」の意味を確認するとともに，身近なところに例を探し，発表する。（語句と表現１）  ５グループで孟子の様々な言葉を調べ，その意味を発表する。  **【推敲】**  １本文を繰り返し音読し，再読文字の箇所を含め，書き下し文を確認する。  ２脚注を参照して正確に現代語訳し，内容を理解する。（手引き１・２）  ３本文の韓愈の発言についてグループで話し合う。（言語活動）  ４「推敲」の意味を確認するとともに，「推敲」を使った短文を書く。（語句と表現１）  □３つの話の内容を確認し，それぞれの趣旨をふりかえる。  □国語便覧などを用い，本教材以外の故事成語に触れる。  □故事成語が日常のどのような場面で使われているか，話し合い発表する。  □故事成語が，今も身近にあって，我々のあり方・生き方を考える言葉であることを理解する。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで訓読のきまりを理解し，学習課題に沿って，故事成語の元になった話を読み，故事成語の果たす役割について考えようとしている。 |
| 現代文編２　小説１（５～６月） | | | | |
| 読む  羅生門〔言語〕  Ｐ22  ３時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，オ | ・極限状態にある登場人物の心情の変化を，場面の展開に即して読み取り，主題について考える。 | **＜第１時＞**  １全文を通読し，時代背景を確かめる。（手引き１）  ２場面の変化に注意して，本文全体を四つの意味段落に分ける。（手引き２）  ３「作者」の説明に従って，「下人」の内面の状態を具体的に読み取り，まとめる。（手引き３１）  ４「作者」の説明に従って，「下人」の行動を順に従って整理する。  ５「下人」の内面の変化を順に従って整理する。（手引き２）  **＜第２時＞**  １「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。  ２「下人」と「老婆」の会話部分の意味を読み取り，まとめる。（手引き４１)  ３「下人」の内面の変化を，変化のきっかけと関連づけながら，整理する。（手引き２・３２・４２)  ４「下人」の内面を「作者」が説明している部分を抜き出し，「下人」と「老婆」のほかに，もう一人の登場人物（陰のような人物）がいる小説の構造について考え，まとめる。（手引き３２）  **＜第３時＞**  １「黒洞々たる夜」という表現に留意して，「老婆」のその後について考える。  ２「下人の行方は，誰も知らない。」という末文の意味を考える。（手引き５）  ３小説の主題について，自分なりに考えて発表する。  ４「老婆(下人)」の発言についてどのように思うか考えをまとめて討論する。(言語活動)  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとしている。 |
| 〔言語〕翻案作品を原作と読み比べる  Ｐ36  １時間 | ［知技］⑴ア  ［思判表］読むこと⑴エ，オ  読むこと⑵ウ | ・古典を元にして作られた作品を原作と読み比べ，理解を深める。 | １翻案作品とはどのようなものか確認する。  ２原作（37ページ）の本文のＡ～Ｄについて，「羅生門」で対応する箇所を探し，36ページの（１）～（３）のいずれに該当するか考える。  ３２を基に原作と「羅生門」を比較し，「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。  ４原作の波線ア～ケについて，「羅生門」で対応する箇所を探し，36ページの（１）～（３）のいずれに該当するか考える。（課題１）  ５４で検討した中から，重要だと思うものを選び，「羅生門」の創作性にとってどのように重要か，自分の考えをまとめ，話し合う。（課題２）  ６「大刀帯の陣に魚を売る媼のこと」（『今昔物語集』）と「羅生門」を比較し，同様に分析する。（課題３）  ７近代小説における古典文学の翻案の例を調べ，発表する。（課題４） | ［知技］言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで古典を元にして作られた作品について理解を深め，学習課題に沿って，翻案作品と原作との違いや，翻案作品の創作性について考えようとしている。 |
| 読む  雨漏りの音〔言語〕  Ｐ40  ■小説の読み方  Ｐ48  ２時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，オ  ［知技］⑵カ  ［思判表］読むこと⑴イ，ウ | ・現代を舞台とした小説を読み，登場人物の心情の変化や人間関係の在り方について考える。 | **＜第１時＞**  １時間の経過に注意しながら，本文を通読する。（手引き１）  ２一つ目の物件の雨漏りに対する茜と晴人の反応の違いを押さえ，その理由を考える。（手引き２）  ３一つ目の物件を見て，二人が同じ感想を持った理由を考える。（手引き３）  **＜第２時＞**  １二つ目の物件に向かう車内で，茜が雨漏りの音について思い出した内容と，思い出した理由を捉える。  ２「いつの間にか」という表現の効果について考える。（手引き４）  ３二つ目の物件で茜が抱いた気持ちについて考える。（手引き５）  ４「なんの役割もない生身の生き物みたいな目をした。」について，このとき茜がどのようなことを感じたのか話し合う。（言語活動） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで本文の内容や構成，展開を的確に捉え，学習課題に沿って，登場人物の心の動きを読み取り，人間関係の在り方について考えようとしている。 |
| 古文編２　随筆（６～７月） | | | | |
| 読む  徒然草〔言語〕  Ｐ120  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，オ  読むこと⑵イ | ・随筆に表れた作者の考えを，叙述を基に的確に捉える。 | □『徒然草』と作者について，必要な知識を得る。  **【丹波に出雲といふ所あり】**  １主語を確認しながら，話のあらすじを読み取る。（語句と表現１）  ２聖海上人の言葉の変化に沿って，その心情を読み取る。（手引き１）  ３この話のおもしろさは，どういうところにあるか説明する。（手引き２・３）  **【ある人，弓射ることを習ふに】**  １全文を音読し，話のあらすじを読み取る。（語句と表現１）  ２第一段落と第二段落の関係を理解する。（手引き１・２）  ３主題を考える。（手引き３）  **【九月二十日のころ】**  １主語に注意しながら，話のあらすじを読み取る。（手引き１・語句と表現１・２）  ２人物の行動を整理し，まとめる。（手引き１）  ３作者は，「その人」のどのようなところに感動したのかを考える。（手引き２・３）  ４絵の違いを見つけ，その違いについて考えたことを話し合う。（言語活動）  **【今日はそのことをなさんと思へど】**  １話のあらすじを読み取る。（語句と表現１・２）  ２本文の主旨を理解する。（手引き１・２）  ３作者の考え方について話し合う。（手引き３）  □四つの教材について，作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか，考える。  □『徒然草』や作者について，知識を深める。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。 |
| 読む  方丈記  Ｐ128  ■古文の窓１  　五大災厄―無常観の背景  Ｐ130  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ  ［知技］⑵イ  ［思判表］読むこと⑴エ | ・表現の特色に注意しながら，作品の内容を解釈する。 | □『方丈記』の内容と作者，時代背景についてまとめる。  **【ゆく河の流れ】**  １全文を繰り返し音読し，その構成と内容を捉える。（語句と表現１～３）  ２「人」と「栖」と，「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。（手引き１）  ３「無常を争ふさま」とはどのようなことかを踏まえて，『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。（手引き２・古文の窓１）  □対句表現や比喩などを指摘し，その効果を考える。（語句と表現３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ［主］進んで表現の特色を理解しながら作品の内容を解釈し，学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。 |
| 読む  枕草子〔言語〕  Ｐ132  ■古文の窓２  　『枕草子』のパロディ  Ｐ136  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，オ  読むこと⑵イ  ［知技］⑴ア／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴エ | ・作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深める。 | □この作品の内容と作者について，今までの学習で得ていた知識とともに，簡単に整理し，理解する。  **【五月ばかりなどに山里に歩く】**  １第一段落の情景描写の特徴をまとめる。（手引き１）  ２第二段落で描かれた出来事について考える。（手引き２）  ３本文全体から読み取れる作者の気分をまとめる。（手引き３）  ４類義語の意味の違い，格助詞「の」の用法を知る。（語句と表現１・２）  **【ありがたきもの】**  １この章段での「ありがたし」の意味を，列挙されているものから類推する。（手引き１）  ２列挙された事例の特徴を考える。（手引き２）  ３『枕草子』や江戸時代に作られたそのパロディを参考にしながら，自分にとっての「ありがたきもの」および現代版「○○もの」を書く。（古文の窓２・言語活動１）  □整理し比較することで，三作品それぞれの特徴を捉える。（言語活動２） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，学習課題に沿って，作者のものの見方や感じ方，考え方を捉えたり，自分と関係づけて考えたりしようとしている。 |
| 漢文編２　寓話（７月） | | | | |
| 読む  寓話―三編  Ｐ246  ■漢文の窓３  　名前の表し方  Ｐ250  ３時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ  ［知技］⑵ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・話の展開や登場人物の言動を読み取り，寓話に込められた意図について考える。 | □「寓話」の辞書上の意味を確認する。  □故事成語として知られている「寓話」を国語便覧や漢和辞典等で調べる。  **【借虎威】**  １本文を音読し，漢文特有の読み方に慣れる。  ２本文を書き下し文にし，現代語訳する。（手引き１）  ３本文の漢字の用法や句法について整理する。  ４「虎の威を借る（狐）」という故事成語について理解を深める。（語句と表現１）  **【朝三暮四】**  １本文を音読し，漢文特有の読み方に慣れる。  ２本文を書き下し文にし，登場人物の場面ごとの言動をまとめる。  ３漢文の重要表現の種類と用法を確認し，整理する。（手引き１）  ４衆狙の反応（怒・喜）の変化について考える。（手引き２・語句と表現１）  **【塞翁馬】**  １本文を音読する。  ２本文を書き下し文にし，登場人物の場面ごとの言動を確認する。（手引き１）  ３「禍」「福」に対する「塞翁」と周囲の人々との捉え方に注意して現代語訳する。（手引き１・２・３）  □「塞翁が馬」やその他の故事成語について調べる。（語句と表現１・２）  □寓話三編を通して作者の意図や，背景にある思想を理解する。  □一人の人間について，現代日本の一般とは違い，複数の「名前」があることを理解する。（漢文の窓３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ［主］進んで訓読のきまりを理解し，学習課題に沿って，話の展開や登場人物の言動を読み取り，寓話に込められた意図について考えようとしている。 |
| ■２学期 | | | | |
| 現代文編３　詩歌（９月） | | | | |
| 読む  こころの鉦―短歌抄  Ｐ52  読む  秋の航―俳句抄  Ｐ56  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，ウ  ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，ウ | ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し，言葉に込められた情景や心情を読み取る。  ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し，想像力を働かせて句の主題を読み取る。 | １短歌とはどのようなものか，どのような短歌を知っているかなどについて話し合う。  ２掲載された短歌を音読し，リズムを味わい，短歌に慣れる。（手引き１）  ３それぞれの歌について，読解・鑑賞をして話し合う。（手引き２・３）  ４掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで，四百字程度の感想文を書く。（手引き４）  １五・七・五の定型詩・季語・切れ（切れ字）・取り合わせなど，俳句の基礎知識・概念を認識し，知っている俳句・俳人などを発表し合うことで，俳句に対して興味を持つ。  ２掲載された俳句を音読し，リズムを味わい，俳句に慣れる。（手引き１）  ３それぞれの句について，読解・鑑賞をして話し合う。（手引き２・３）  ４掲載された俳句の中から印象に残った一句を選んで，四百字程度の感想文を書く。（手引き４）  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。 |
| 読む  小景異情  Ｐ60  読む  一つのメルヘン  Ｐ62  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ  ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ | ・リズムや形式に注意して詩を読み味わい，「ふるさと」に対する作者の心情について考える。  ・幻想的なイメージを味わい，そこに込められた作者の心情について考える。 | １教師の範読後に何回か読み，文語詩独特の表現やリズムについて気づいた点を挙げる。（手引き１）  ２全体の意味を捉え，「ふるさと」への作者の思いを理解する。(手引き２・３ )  ３反復法とその効果を理解する。（手引き１）  ４「ふるさと」への作者の思いを考えて話し合う。（手引き４）  １リズムに注意しながら音読する。（手引き１）  ２各連に描かれた情景をまとめる。（手引き２）  ３この詩に用いられている表現の効果について考える。（手引き３）  ４この詩を読み味わったうえで，感じたことを話し合う。（手引き４） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ［主］進んでリズムや形式に注意して詩を読み味わい，学習課題に沿って，それぞれの詩に込められた作者の心情について考えようとしている。 |
| 読む  I was born  Ｐ64  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ | ・散文詩を読み，蜉蝣（かげろう）のイメージに託された生命への思いを深く味わう。 | １詩を音読して，全体を把握する。  ２散文詩の特徴を理解し，独特な表現やリズムを味わう。（手引き１・現代文の窓１）  ３「父」に話しかけるまでの「僕」の気持ちの流れを読み取り，まとめる。（手引き２）  ４「父」の話の内容を理解し，そこに込められた「父」の思いと，「父」の話を聞いた「僕」の思いを読み取り，まとめる。（手引き３・４）  ５題名に込められた作者の思いについて話し合う。（手引き５） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ［主］進んで散文詩を読み味わい，学習課題に沿って，詩や題名に込められた作者の思いについて考えようとしている。 |
| 読む  あいだ  Ｐ68  ■現代文の窓１  文語定型詩から口語自由詩へ  Ｐ70  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，ウ  ［知技］⑴ア／⑵ア  ［思判表］読むこと⑴エ | ・詩に込められた作者の心情を理解し，人と人との関係の在り方について考える。 | １詩を音読し，表現の工夫について気づいた点を挙げる。（手引き１）  ２作者が用いている特徴的な表現について考え，詩を読み深める。（手引き２）  ３終わりの三行に込められた作者の思いについて考える。（手引き３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ［主］進んで詩の表現の仕方や特色を捉え，学習課題に沿って，詩に込められた作者の心情を理解し，人と人との関係の在り方について考えようとしている。 |
| 古文編３　歌物語（９月） | | | | |
| 読む  伊勢物語  Ｐ138  ●古文学習のしるべ４  和歌の解釈  Ｐ140  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ  ［知技］⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・歌物語に描かれている内容を，叙述を基に的確に捉える。 | □作品についての教師の解説を聞き，その概略を理解する。（古文の窓３）  **【芥川】**  １本文を音読した後，概略を発表し，ノートにまとめる。  ２女の高貴性と男の心情の推移を読み取る。また，「白玉か…」の歌に込められた男の心情と歌の役割を考える。（手引き１・２・語句と表現１・古文学習のしるべ４）  **【東下り】**  １本文を通読し，旅の行程に注目しながら，三つの場面に分ける。（手引き１）  ２第一段落の重要語に注意し，通釈する。  ３主人公の「男」が「東下り」をするに至った事情について学び，その時の男の心情を考える。  ４「唐衣…」の歌に用いられた和歌の修辞を理解するとともに，そこに詠み込まれた心情を理解する。（手引き２）  ５第二～第五段落において，どのような場所を，どのように旅したか，具体的に考える。  ６第二～第四段落において，「宇津の山」「富士の山」がどのように描写され，和歌に取り入れられているか考える。  ７第五段落において，「すみだ川」のほとりでの，男たちの心情について考える。（手引き３ ）  ８全体を読み直し，男たちの心情の変化を，和歌に着目し，整理する。（手引き４）  **【筒井筒】**  １本文を音読した後，三つの場面に分けて，各場面の大意をノートにまとめる。（手引き１・古文の窓３）  ２「筒井筒…」「くらべこし…」の歌に込められたそれぞれの心情を想像する。（手引き２）  ３本文を精読し，筒井筒の女，高安の女の人物像を比較してまとめる。（手引き３）  ４古今異義語や助詞の用法を確認する。（語句と表現１）  **【梓弓】**  １本文を音読し，概略を理解する。  ２男と女の行動を順を追って整理する。（手引き１）  ３和歌を中心に，男と女の心情を捉える。（手引き２）  ４紛らわしい語の識別方法を確認する。（語句と表現１） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し，学習課題に沿って，各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。 |
| 読む  〔言語〕『伊勢物語』と絵画・工芸  Ｐ150  ■古文の窓３  恋愛と結婚  Ｐ152  １時間 | ［知技］⑴ア  ［思判表］読むこと⑴ア，オ  ［知技］⑵イ，ウ  ［思判表］読むこと⑴エ | ・古典を元にした絵画・工芸を通して，文章の内容を捉え直す。 | １『伊勢物語』が後世に与えた影響の一つに，絵画・工芸があることを確認する。  ２151ページの１～３の絵が，「東下り」のどの場面を描いたものか考える。（課題１）  ３１～３から好きな絵を選び，「東下り」の本文が絵ではどのように表現されているか，解説文を書く。（課題２）  □『伊勢物語』が，文学や芸能などの世界で，どのような影響を及ぼしたか調べ，発表する。  □「歌物語」と呼ばれる『伊勢物語』における本文と和歌との関係や役割について考える。  □「古文の窓３」を読み，当時の恋愛や結婚について理解する。（古文の窓３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・古典の作品に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで古典を元にした絵画・工芸について理解し，学習課題に沿って，文章の内容を捉え直そうとしている。 |
| 古文編４　日記（10月） | | | | |
| 読む  土佐日記  Ｐ154  ■古文の窓４  吉日・吉方と旅立ち  Ｐ155  ■古文の窓５  和語と漢語  Ｐ160  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，ウ，エ  ［知技］⑵イ  ［思判表］読むこと⑴エ  ［知技］⑴ウ／⑵ア，イ  ［思判表］読むこと⑴エ | ・表現の特色を踏まえて，作品に込められた意図を考える。 | □日記と日記文学の違い，『土佐日記』と作者について概略を理解する。  **【馬のはなむけ】**  １朧化表現を指摘し，この作品の表現の特色を考える。（手引き１・語句と表現１）  ２この章段に書かれた旅立ちの様子を読み取る。（手引き２・古文の窓４）  ３冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。（手引き３・語句と表現２）  **【羽根といふ所】**  １前半〔初め～一五六・６〕を読み，書かれている内容のあらましを読み取る。（手引き１）  ２後半〔一五六・７～終わり〕を読み，和歌を詠むに至った経緯，および和歌の内容を読み取り，作者や母の悲しみとは何かを理解する。（手引き２・３・語句と表現１）  ３文末，あるいは省略表現に着目し，特徴的な表現についてその意味や効果を考える。（語句と表現２）  **【帰京】**  １全体を読み，帰宅した時の家の様子と，その時の作者の心情を読み取る。（手引き１・語句と表現１・２）  ２和歌を詠むに至った経緯や，和歌に託された心情を読み取る。（手引き２・語句と表現２）  ３末尾の一文を読み取り，冒頭と照応している結語であることを理解する。（手引き３）  □『土佐日記』の文学史的な位置づけやその後の作品に与えた影響等を調べる。  □教材全体の中から作者の表現の工夫が分かる箇所を抜き出し，その効果とともにまとめる。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ［主］進んで本文の表現の特色を理解し，学習課題に沿って，作品に込められた意図を考えようとしている。 |
| 漢文編３　詩文（10月） | | | | |
| 読む  絶句と律詩―八首  〔言語〕  Ｐ252  ■漢文の窓４  漢詩の形式ときまり  Ｐ259  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア，イ，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ，エ，オ  読むこと⑵イ，ウ  ［知技］⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り，優れた表現に親しむ。 | □唐という時代の特色，日本との関係などを理解する。  □「漢文の窓４　漢詩の形式ときまり」を読み，近体詩の最低限のきまりを理解する。（漢文の窓４）  **【鹿柴】【春暁】【春暁】**  １それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。（手引き３・漢文の窓４）  ２それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し，書き下す。  ３展開に注意して現代語訳し，「自然」という章立てを意識しつつ，うたわれている状況を考える。（手引き１）  ４「自然」という章立てを意識しつつ，それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。（手引き２）  ５理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。（手引き４）  ６孟浩然と幸田露伴の「春暁」（253ページ）を読み比べて，二つの詩の違いを論じる。（言語活動）  **【送元二使安西】【黄鶴楼送孟浩然之広陵】**  １それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。（手引き３・漢文の窓４）  ２それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し，書き下す。  ３展開に注意して現代語訳し，「友情」という章立てを意識しつつ，うたわれている状況を考える。（手引き１）  ４「友情」という章立てを意識しつつ，それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。（手引き２）  ５理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。（手引き４）  **【涼州詞】【春望】【香炉峰下、……】**  １それぞれの詩の詩形と押韻および対句を確認する。  （手引き３・語句と表現１・漢文の窓４）  ２それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し，書き下す。  ３展開に注意して現代語訳し，「人生」という章立てを意識しつつ，うたわれている状況を考える。（手引き１）  ４「人生」という章立てを意識しつつ，それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。（手引き２）  ５理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。（手引き４）  ６唐詩に関する規則と特徴について復習し，多様で魅力にあふれた唐詩の世界を読み味わう。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで漢詩の形式ときまりを理解し，学習課題に沿って，漢詩に描かれた情景や心情を読み取り，優れた表現に親しもうとしている。 |
| 読む  文  Ｐ260  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ | ・描かれた状況を考えながら，文を読み，作者の主張について考える。 | □本文を音読し，漢文訓読に慣れる。  **【雑説】**  １本文を書き下し文にし，現代語訳する。（手引き１）  ２「也」の用法と部分否定の確認をする。（語句と表現１・２）  ３段落相互の関係に留意し，各段落の要点を整理する。（手引き２）  ４作者は「伯楽」と「千里馬（名馬）」の比喩によって何を主張しようとしたのかを考える。（手引き３）  １韓愈の感慨について考えてみる。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで文章の構成や漢文特有の表現を理解し，学習課題に沿って，描かれた状況をふまえて作者の主張について考えようとしている。 |
| 書く  〔言語〕訳詩を書く  Ｐ262  １時間 | ［知技］⑴ウ／⑵ウ，エ  ［思判表］書くこと⑴ア，イ | ・元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように，表現を工夫して訳詩を書く。 | □自分の選んだ漢詩の内容を確認し，具体的にイメージを膨らませる。（課題①②１・２）  □訳詩を書き，推敲する。（課題②３・４） | ［知技］  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ［思判表］  ・「書くこと」において，自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。  ・「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。  ［主］進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，元の漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。 |
| 現代文編４　小説２（11月） | | | | |
| 読む  富嶽百景　　〔言語〕  Ｐ72  ■現代文の窓３  「富士は日本一の山」か？  Ｐ98  ３時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，オ  ［知技］⑴ア／⑵ア  ［思判表］読むこと⑴エ | ・主人公の心情の変化と，富士山や周囲の人々についての描写に注意して，小説を読み味わう。 | **＜第１時＞**  １教科書の作者紹介などを見て，太宰治についておおよその知識を得る。  ２富士山の姿がどのように変化するかに注意して，本文を通読する。（手引き１）  ３ストーリーと直接関係のない第一段を作品冒頭に置いた作者のねらいや効果について考える。  **＜第２時＞**  １第二段～第五段を読み，「私」は，周囲の人々の態度や人柄に対してどのような感じを持ったか，整理する。（手引き２）  ２周囲の人々との触れ合いを通じて，「私」がどのように影響を受け，心情を変化させていったかについて考え，まとめる。  **＜第３時＞**  １「私」の「富士」に対する気持ちの変化について考える。（手引き３）  ２本文において，「富士」がどのような役割を果たしていると思うか，話し合う。（手引き４）  ３この文章の魅力はどのようなところにあるか，また，どのようなことが主題だと思うか，話し合う。  １「読書案内」〔288ページ〕に紹介された本から一冊選んで読み，その本を紹介するスピーチをする。（言語活動）  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで本文の内容や構成，展開などを捉え，学習課題に沿って，主人公の心情の変化と，富士山や周囲の人々についての描写に注意して，小説を読み味わおうとしている。 |
| 読む  鏡  Ｐ87  ■現代文の窓２  怪談の文学史  Ｐ97  ２時間 | ［知技］⑴ア，イ，ウ，エ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ  ［知技］⑴ア／⑵ア  ［思判表］読むこと⑴エ | ・自分という存在について，特有の語り口で書かれた小説を読み，「鏡」が持つ意味について考える。 | **＜第１時＞**  １自分が「怖い」と思った体験を表現する。  ２通読して，「僕」という人物，小説の舞台設定，文章構成，語りの工夫などを読み取り，まとめる。（手引き１）  ３第一段～第二段を読み，時代背景を考慮に入れながら，「僕」という人物の設定を読み取り，まとめる。  ４「僕」の性格や考え方を，仕事に対する態度から読み取り，まとめる。  **＜第２時＞**  １第三段を読み，このときの「僕」の心理状態を読み取り，まとめる。（手引き２）  ２「僕」と鏡に映った「奴」との関係を，ストーリーの展開に即して考え，まとめる。（手引き３・４）  ３第四段を読み，題名も手がかりにして，「僕」の体験が自己の内面を脅かす体験だったことを読み取り，まとめる。（手引き５） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ［主］進んで本文に表れているものの見方や感じ方を捉え，学習課題に沿って，特有の語り口で書かれた小説を読み，「鏡」が持つ意味について考えようとしている。 |
| 古文編５　和歌（11月） | | | | |
| 読む  万葉集  Ｐ162  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，オ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ | ・表現の特色に注意しながら，和歌の内容を読み取る。 | □『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』について知っていることや，知っている歌を挙げ，学習を始める準備をする。  １『万葉集』の成立，巻数，歌数，時代区分，主な歌人，歌体，頻出する修辞などを確認する。（古文学習のしるべ５）  ２短歌・長歌のリズム，句切れなどに注意しながら音読する。（古文学習のしるべ５・手引き１）  ３それぞれの歌について，現代語訳した上で，和歌の修辞を確認し，詠まれた時代や状況，作者の心情を考えてまとめる。（古文学習のしるべ４・５・手引き２）  ４「不尽山を望みし歌」の長歌の表現上の特徴と，反歌の働きを理解する。（古文学習のしるべ５）  ５「不尽山を望みし歌」の反歌について，『小倉百人一首』に載せられた歌とどのように違うか，話し合う。（手引き３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで和歌における表現の特色を理解し，学習課題に沿って，和歌の内容を読み取ろうとしている。 |
| 読む  古今和歌集  Ｐ166  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，オ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ | ・和歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取る。 | １『古今和歌集』の成立，撰者，部立，頻出する修辞などを理解する。また，勅撰和歌集についても確認する。（古文の窓６・古文学習のしるべ５）  ２歌の句切れやリズムに注意しながら，歌を音読する。（手引き１）  ３五三番歌～三三七番歌の四季の歌を，現代語訳した上で，季節の風物をどのように捉えて表現しているか，和歌の修辞を確認しながらまとめる。（古文学習のしるべ４・５・手引き２）  ４四〇六番歌～九五六番歌の「羇旅歌」「恋歌」「雑歌」を現代語訳した上で，和歌の修辞を確認し，それぞれどのような心情が詠まれているか，まとめる。（古文学習のしるべ４・５・手引き３） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで和歌における表現の特色を理解し，学習課題に沿って，和歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。 |
| 読む  新古今和歌集　〔言語〕  Ｐ170  ■古文の窓６  　勅撰和歌集の構成  Ｐ174  ●古文学習のしるべ５  　和歌の修辞  Ｐ175  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，オ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ，エ，オ  読むこと⑵イ  ［知技］⑵イ  ［思判表］読むこと⑴エ  ［知技］⑴オ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・さまざまな内容や表現の和歌を読み取り，解釈を深める。 | １『新古今和歌集』の成立，撰者，部立，頻出する修辞などを理解する。また，成立した時代の政治状況を認識する。（古文の窓６・古文学習のしるべ５）  ２歌の句切れやリズムに注意しながら，歌を音読する。（手引き１）  ３それぞれの歌を，現代語訳した上で，和歌の修辞を確認し，詠まれた情景や心情を読み取り，まとめる。（手引き２・古文学習のしるべ４・５）  ４宮内卿の歌と藤原家隆の歌をそれぞれの本歌と比較し，共通点と相違点をまとめる。（手引き３・古文学習のしるべ５）  ５後に「三夕の歌」と呼ばれるようになる「秋歌上」の三六一番歌～三六三番歌を詠み比べ，気づいたことをまとめる。（手引き４）  ６『新古今和歌集』に表れる美意識について理解する。  □『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌の傾向の違いについて考え，話し合う。（言語活動） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで和歌における表現の特色を理解し，学習課題に沿って，さまざまな内容や表現の和歌を読み取り，解釈を深めようとしている。 |
| 書く  〔言語〕短歌を作る  Ｐ177  ２時間 | ［知技］⑴オ／⑵ウ  ［思判表］書くこと⑴イ／書くこと⑵ア | ・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って短歌にし，効果的に書く。 | □『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の中から好きな歌を一首選び，その理由を発表する。  １和歌の歴史や伝統について，概略を理解する。  ２和歌の技法の一つである「折句」について，『伊勢物語』の例と折句の解説（176ページ）をもとに確認する。  ３短歌を作るために，折句で詠み込む五音の言葉を決める。（課題①１）  ４決めた五音が各句の頭に来るように短歌を作り，推敲する。（課題①２）  ５「本歌取り」の技法について確認する。  ６Ａに倣い，「君がため」「わが」「つつ」を用いて，フレーム短歌を作り，推敲する。（課題②１）  ７Ｂに倣い，「くるしみは……時」「たのしみは……時」「かなしみは……時」などの形でフレーム短歌を作り，推敲する。（課題②２）  ８課題１・２で作った短歌を短冊に書き，作品に仕上げる。（課題③１）  ９作品を貼り出したり，コピーして配ったりして，表現の仕方などについて互いに批評し合い，話し合う。  □短歌を実作する前と，実作した後で，我が国の言語文化としての和歌（短歌）に対する考え方が変わったか，話し合う。 | ［知技］  ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。  ［主］進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。 |
| 読む  恋の歌を読み比べる 〔言語〕  Ｐ180  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，オ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴イ，エ，オ  読むこと⑵オ | ・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて，ものの見方，感じ方，考え方を深める。 | □『古今和歌集』『新古今和歌集』の恋の歌，『小倉百人一首』中の恋の歌などから好きな歌を選び，発表する。  □近現代の詩歌，現代の楽曲の中からも好きなものを選び，発表する。  １古典和歌で，恋の気持ちがどのように詠まれているか確認する。（言語活動１）  ２近現代の詩歌の内容を確認し，恋の気持ちを読み取る。また，古典和歌と近現代の詩歌とを読み比べ，共通点や相違点についてまとめる。（言語活動１）  ３現代の楽曲に表れた恋の気持ちを確認する。（言語活動１）  ４言語活動１での読み比べを通して気づいたことを踏まえ，さまざまな「恋の歌」から一つ選び，八百字程度で鑑賞文を書く。（言語活動２）  □鑑賞文でどのような詩歌や楽曲を扱ったか，また，鑑賞文を書くにあたってどんな点を工夫したか，発表する。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで詩歌や楽曲に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，学習課題に沿って，さまざまな時代の恋の歌を読み比べて，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めようとしている。 |
| 古文編６　作り物語と軍記物語（12月） | | | | |
| 読む  竹取物語　〔言語〕  Ｐ184  ■古文の窓７  　月の伝説  Ｐ189  ■古文の窓８  　古典文学の中の富士山  Ｐ192  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，オ  読むこと⑵イ  ［知技］⑵ア，イ  ［思判表］読むこと⑴エ  ［知技］⑴ア／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴エ | ・作り物語に表れた多様な思いを，叙述を基に的確に捉える。 | □昔話としての「かぐや姫」について，知っていることを発表する。  □『竹取物語』の概略を理解する。  □「なよたけのかぐや姫」（参考）を音読し，古文のリズムを味わう。また，大まかな内容を理解する。  □かぐや姫の誕生についてどのように描かれているか確認し，作品の伝奇的特質について話し合う。  □伝奇的特質に注目して，昔話などの話型を確認する。  **【天の羽衣】**  １全文を通読し，概略を捉える。（語句と表現１）  ２主に「王とおぼしき人」の言動に注目し，天人の能力や，その考え方を読み取る。  ３かぐや姫が翁のもとに来た理由がどのように語られているか，まとめる。（手引き１）  ４「王とおぼしき人」と翁それぞれの言動を整理し，天上と地上の世界を比較する。  ５かぐや姫の言動に注目し，その人物像について考える。  ６「今はとて…」の歌に託されるかぐや姫の思いと，「天の羽衣」の効力について考える。（手引き２）  ７敬語の種類とその用法について確認する。（語句と表現２・３）  ８中国と日本における月の伝説について理解する。（古文の窓７）  **【富士の山】**  １全文を通読し，概略を捉える。  ２帝の心情と行動について考える。（手引き１）  ３「富士の山」の名前のいわれについて，本文の内容をまとめる。（手引き２・古文の窓８）  ４敬語の種類とその用法について確認する。（語句と表現１）  □「天の羽衣」「富士の山」から，当時の人々のどのような思いが読み取れるか，話し合う。（言語活動）  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで文章の展開や表現の特色を理解し，学習課題に沿って，作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。 |
| 漢文編４　史話（12月） | | | | |
| 読む  史話―三編 〔言語〕  Ｐ264  ■漢文の窓５  交友論  Ｐ272  ３時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，オ  読むこと⑵イ  ［知技］⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・話の展開や登場人物の言動を読み取り，史話のおもしろさを味わう。 | □三編の題名が成語として用いられていることに触れ，その意味を確認する。  □神話時代から春秋時代に至る中国史の概略を整理する。  □『史記』・『十八史略』の形式や成立事情を確認する。  **【晏子之御】**  １範読を手がかりに，本文を繰り返し音読する。  ２脚注等を参照しながら，句法に注意して正確に現代語訳し，内容を整理する。（手引き１・語句と表現１）  ３御者の妻が，晏子と自分の夫（御）をどのように比較し，どんな決断をしたかを読み取る。（手引き２）  ４妻の発言は，夫にどのような変化をもたらし，晏子はどのように評価したかを読み取る。（手引き３）  ５三人の人物像を確認するとともに，『史記』において晏子が高く評価される理由を明らかにする。（言語活動）  **【管鮑之交】**  １本文を繰り返し音読し，正しく書き下し文を書くことで書き下しのきまりを確認する。  ２管仲が桓公に用いられる経緯について，語句・句法の意味，用法に注意して現代語訳する。（手引き１）  ３管仲と鮑叔の交友を，語句・句法の意味，用法に注意して現代語訳する。（手引き２）  ４現代語訳を完成し，桓公の管仲に対する評価の変化を理解する。  ５「管鮑の交わり」という故事成語がどのように使われるかを調べ，また，自分の体験とも照らし合わせる。（手引き３・語句と表現１）  **【臥薪嘗胆】**  １正しく音読できるようになった後で，漢文を参考に重要箇所を書き下し文で書く。（手引き１）  ２呉王闔廬に仕える伍子胥の逸話と，闔廬の死後夫差が「臥薪」し句践に復讐を遂げるまでを，語句・句法の意味，用法に注意して現代語訳する。（手引き３）  ３越王句践が「嘗胆」し，長年の準備の後で呉を滅亡させる結末までを，語句・句法の意味，用法に注意して現代語訳する。（手引き３・４）  ４全体を把握して，「呉・越」の関係を理解する。（手引き２・４）  ５呉が負けた理由，越が勝った理由をそれぞれ話し合う。  ６「臥薪嘗胆」その他の故事成語はどのように使われるかを調べる。（語句と表現１）  □「漢文の窓５　交友論」（教科書272ページ）を読んで，交わり方の違いを表す故事成語を学び，人との関係の持ち方について考える。（漢文の窓５）  □国語便覧などを用い，史話が出典とされる故事成語に触れる。  □三編の史話をふまえ，日本史や世界史の教科書に記述されるような「歴史」と，中国の歴史書の「歴史」の違いについて考える。  □故事成語が，今も身近にあって，我々のあり方・生き方を考える言葉であることを理解する。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り，学習課題に沿って，史話のおもしろさを味わおうとしている。 |
| ■３学期 | | | | |
| 現代文編５　作品を読み比べる（１月） | | | | |
| 読む  桜に関する作品を読み比べる　　〔言語〕  Ｐ100  ３時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア  ［思判表］読むこと⑴エ，オ | ・桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べながら，日本文化における桜のありようを探る。 | **＜第１時＞**  １桜についての詩歌や文章を通読する。  ２〔Ａ〕の古典和歌において桜がどのように詠まれているか考える。（言語活動１）  **＜第２時＞**  １〔Ｂ〕〔Ｃ〕について，形式の違いにも注意しながら，近現代の詩歌において桜に託された作者の思いを比較する。（言語活動２）  ２〔Ｄ〕の随筆において，桜を巡る筆者の考えがどのように変化しているか，まとめる。（言語活動３）  **＜第３時＞**  １〔Ａ〕から〔Ｄ〕で描かれた桜を比較し，読み比べを通して気づいたことを，八百字程度の文章にまとめる。（言語活動４） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べ，学習課題に沿って，日本文化における桜のありようを探ろうとしている。 |
| 古文編６　作り物語と軍記物語（１月） | | | | |
| 読む  平家物語  Ｐ194  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ | ・軍記物語特有の表現に注目しながら，登場人物の描かれ方を読み取る。 | □「木曽の最期」に至るまでのいきさつを確認する。  **【木曽の最期】**  １全文を通読して話の大筋をつかむ。（手引き１・語句と表現１）  ２第一場面を読み，再会を果たした義仲と兼平の心情を読み取る。  ３第二場面の軍記物語に特有のすぐれた描写を指摘し，その効果を考える。（語句と表現２）  ４義仲と巴の心情の動きと通じ合いを読み取る。（手引き２）  ５第三場面の敬語に着目し，会話の内容を読み取る。  ６義仲に自害を勧める兼平の心情と，義仲の言動と心情とを読み取る。（手引き３）  ７第四場面の兼平の奮戦を，描写に着目して読み取る。  ８義仲と兼平の心情に触れながら，それぞれの死の描かれ方について考える。（手引き４・５）  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで軍記物語特有の表現などについて理解し，学習課題に沿って，登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。 |
| 読む  〔言語〕受け継がれる『平家物語』  Ｐ204  １時間 | ［知技］⑴ア／⑵カ  ［思判表］読むこと⑴ウ，エ，オ  読むこと⑵オ | ・古典を素材とした芸能などを調べ，受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持つ。 | １『平家物語』が後世の文学・芸能に与えた影響について確認する。  ２『平家物語』を素材とした作品を，『平家物語』本文と読み比べ，登場人物や場面設定，あらすじなどについて，共通点や相違点を調べる。（課題１）  ３調べたことや考えたことを基に，それぞれの作品がどのような工夫によって新たな展開をさせているのか，まとめる。（課題２）  ４３を基に発表し，意見や感想を述べ合う。（課題２）  □文体を意識して，場面に応じた音読をする。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで『平家物語』を素材とした芸能などを調べ，学習課題に沿って，受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持とうとしている。 |
| 古文編７　俳諧（１～２月） | | | | |
| 読む  奥の細道  Ｐ208  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア，ウ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ | ・構成に注目しながら，作品に込められた思いを読み取る。 | □『奥の細道』について知っていることを発表する。また，出典や作者などについては教科書の出典・作者紹介などで調べておく。  **【漂泊の思ひ】**  １全文を通読し，前段と後段それぞれの概略を読み取る。（手引き１）  ２用いられている修辞や省略表現を探し，発表する。（語句と表現１・２）  ３前段に記された旅の動機，人生観，旅の準備をする心情について読み取る。  ４「草の戸も…」の句を解釈し，作者の心情を読み取る。（手引き２）  ５後段を読み，旅立ちの様子とその時の心情を読み取る。（語句と表現２）  ６「行く春や…」の句を解釈し，作者の心情を読み取る。（手引き２）  ７作者が旅をどのようなものと捉えているかをまとめる。（手引き３）  **【平泉】**  １書かれている場所を意識しながら全文を通読し，概略を読み取る。  ２作者は，どのようなものが滅び，どのようなものが残っていると述べているか，整理する。（手引き１）  ３中国の故事「黄粱一炊の夢」と，杜甫「春望」の内容を確認する。  ４高館で作者が「涙を落とし」た理由を考える。  ５「夏草や…」「卯の花に…」の句を解釈し，曽良の句を置くことにより，どのような効果があるかを考える。（手引き２）  ６「五月雨の…」の句に表現された作者の感動を読み取る。（手引き２）  ７自然と人為について作者はどう考えているのかをまとめる。（手引き３）  **【大垣】**  １全文を通読し，概略を読み取る。  ２作者が大垣に到着した際の様子や，迎える人々の気持ちを読み取る。  ３作者の伊勢への出発の事情を「漂泊の思ひ」と関連させながら読み取る。（手引き１）  ４「蛤の…」の句を解釈し，この句で『奥の細道』が結ばれた意図を考える。（語句と表現１・手引き２）  ５「漂泊の思ひ」から「大垣」までに出てきた六つの句について，季語と切れ字を確認する。（語句と表現２） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで文章の構成や展開について理解し，学習課題に沿って，作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 |
| 読む  〔言語〕俳句の翻訳  Ｐ216  １時間 | ［知技］⑴ア／⑵ア  ［思判表］読むこと⑴イ，ウ，オ  読むこと⑵エ | ・俳句の翻訳を通して，多様な解釈に触れるとともに，自らの解釈を深める。 | １俳句の翻訳について概略を理解し，「閑かさや…」の句を英訳した例（216ページ１）を確認する。  ２２（217ページ）を１の英訳と比較し，どのような違いがあるかをまとめる。（課題１）  ３「閑かさや…」の他の英訳について調べ，原句と比較する。（課題２）  ４３を基に，どの訳が良いと思うか，根拠を示しつつ，意見を発表し合う。（課題２）  ５「行く春や…」「夏草や…」の句を英訳する。（課題３）  ６５を基に英訳を発表し，互いの解釈や表現の違いについて話し合う。（課題３）  □『奥の細道』の文学史的位置について理解する。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで俳句の翻訳について理解し，学習課題に沿って，多様な解釈に触れるとともに，自らの解釈を深めようとしている。 |
| 書く  〔言語〕文学碑を調べる  Ｐ218  １時間 | ［知技］⑴ア  ［思判表］書くこと⑴ア | ・地域の文学碑を調べ，集めた材料を吟味し，整理する。 | □自分の住んでいる地域に関わる文学作品や作家について知っていることを発表し合う。  １教科書に掲載された例を参考にしつつ，「文学碑」の概略を理解する。  ２自分の住む地域にはどのような文学碑があるのか確認する。（課題１）  ３自分が興味を持った文学碑について調べ，［ワークシート例］を参考にして整理する。（課題２）  ４３を基に，自分の住む地域と文学との関わりについて，考えたことや気づいたことをまとめる。  □地域にとって文学碑はどのような役割や意味を持っているのか，各文学碑の建立の経緯から考察し話し合う。 | ［知技］言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ［思判表］「書くこと」において，自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。  ［主］進んで文学碑について理解し，学習課題に沿って，地域の文学碑を調べ，集めた材料を吟味し，整理しようとしている。 |
| 古文編　古文の広がり（２月） | | | | |
| 読む  昔の犬は何と鳴く  〔言語〕  Ｐ220  １時間 | ［知技］⑵ア，エ，カ  ［思判表］読むこと⑴イ，オ  読むこと⑵ア | ・言葉の変化についての解説を読み，言語文化への視野を広げる。 | □古文に関する現代の文章を読むことが古文の多様な広がり，古文に対する多様なアプローチに触れることになることを理解する。  １本文を通読し，概略を読み取る。  ２筆者は犬の鳴き声が昔「びよ」「びょう」であったことをどのように論証しているか，その過程を整理する。（言語活動１）  ３古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ，現代語と比較して気づいたことをまとめ，発表する。（言語活動２）  □「言語文化」における古文学習を振り返り，古文学習の意義について確認する。 | ［知技］  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。  ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し，学習課題に沿って，筆者の論証の過程を整理したり，古文における擬音語・擬態語を現代語と比較したりしようとしている。 |
| 読む  文体の変遷  Ｐ225  １時間 | ［知技］⑵ア，イ，オ  ［思判表］読むこと⑴エ，オ | ・歴史的な文体の変化について，実例に即しながら理解を深める。 | □話し言葉と書き言葉，小論文の文章とメールの文章などの例を考える。  １「古典の文体」を読み，漢字で日本の言葉を書き記すために積み重ねられてきた工夫について理解し，気づいた点や，興味・関心を持った点を挙げる。（課題１）  ２「近代の文体」を読み，書き言葉を話し言葉と一致させる「言文一致体」について理解し，気づいた点や，興味・関心を持った点を挙げる。（課題１）  ３日本語の文体がどのように変化してきたかについて，教科書に掲載されている文章なども踏まえながら話し合う。（課題２）  □古典から近代までの流れをまとめる。  □「近代の文体」の文章を現代の文章と比べる。また，日常の話し言葉と比べ，「言文一致体」について考える。 | ［知技］  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。  ［思判表］  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。  ［主］進んで歴史的な文体の変化について理解を深め，学習課題に沿って，実例に即して気づいた点や興味・関心を持った点を挙げたり，日本語の文体の変化について話し合いをしたりしようとしている。 |
| 漢文編５　思想（３月） | | | | |
| 読む  論語―十一章  Ｐ274  中国と日本『論語』の注釈を読む  Ｐ278  ２時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ  ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵ア，イ  ［思判表］読むこと⑴イ，エ，オ  読むこと⑵ウ | ・『論語』を読むことを通して，孔子の思想に興味を持ち，ものの見方や考え方を豊かにする。  ・『論語』の注釈を読み，日本での『論語』の受容について知るとともに，漢文を自分で解釈する力を養う。 | □『論語』の成立と伝播，孔子の生きた時代背景，孔子の略歴を，ノートにまとめる。  **【学問を語る】**  １本文を繰り返し音読し，書き下し文にする。（語句と表現１）  ２脚注を参照して正確に現代語訳し，内容を理解する。  ３孔子の学問観について考える。（手引き１）  ４「為政」「述而」の章から生まれた成語を確認する。  **【人生を語る】**  １本文を繰り返し音読し，書き下し文にする。（語句と表現１）  ２脚注を参照して正確に現代語訳し，内容を理解する。（語句と表現１）  ３孔子や弟子の人間観について考え，「忠」「信」，「巧言令色」や「仁」についても調べる。（手引き２・語句と表現２）  **【政治を語る】**  １本文を繰り返し音読し，書き下し文にする。（語句と表現１）  ２脚注を参照して正確に現代語訳し，内容を理解する。（語句と表現１）  ３孔子の理想とする政治について考える。（手引き３）  □孔子の思想を，学問観・人間観・政治観の三つに分けてノートにまとめる。  □「言語活動　『孔門の十哲』名鑑を作る」（教科書281ページ）に取り組み，孔子と弟子たちとの人間的な触れ合いを理解する。（言語活動）  **【中国と日本『論語』の注釈を読む】**  □現代文や古文と同様に，漢文で扱う教材の中には，訓読の仕方や解釈が複数存在するものがあることを確認する。  １『論語』の解釈や注釈について，概略を理解する。  ２「親孝行とは何か」という問いかけに対する孔子の発言について，二つの方向性の解釈があることを理解し，朱熹と伊藤仁斎の解説を読み比べる。（問１）  ３朱熹と伊藤仁斎の説のどちらに賛同するか考え，理由も示しつつ，グループで話し合う。（問２）  ４『論語集注』と『論語古義』を読み，日本で一般的に考えられている「親孝行」と比較し，気づいたことをグループで話し合う。（問３）  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。  ・「読むこと」において， 作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。  ［主］進んで自分のものの見方，考え方を深め，学習課題に沿って，『論語』を読んで，孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり，『論語』の注釈を読んで，自分の考えを伝え合ったりしようとしている。 |
| 書く  〔言語〕「孔門の十哲」名鑑を作る  Ｐ281  １時間 | ［知技］⑵イ  ［思判表］書くこと⑴ア | ・好きな人物を選び，調べて得た情報を的確に整理して，人物像が伝わる名鑑を作る。 | １教科書281ページの例を参考に，どのような名鑑を作るか話し合う。（課題１）  ２分担して，『論語』や『史記』などで調べる。（課題２）  ３調べたことを整理して，一枚の用紙にまとめる。（課題３）  ４同じ人物について調べたグループで，名鑑の違いなどを比較する。（課題３）  □制作した名鑑を見て，孔子と弟子達との関係について理解を深める。  □相手に自分の調べたことや考えを伝えるにはどのような工夫をすればよいかを確認する。 | ［知技］古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］「書くこと」において，自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。  ［主］進んで調べて得た情報を的確に整理し，学習課題に沿って，人物像が伝わる名鑑を作ろうとしている。 |
| 読む  孟子  Ｐ282  ■漢文の窓６  孟子の説得術  Ｐ284  １時間 | ［知技］⑴ア，ウ，エ／⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア，イ，ウ  ［知技］⑵イ  ［思判表］読むこと⑴ア | ・孟子の比喩表現を多用した論理展開を読み，孟子の思想に興味を持つ。 | □時代背景，孟子の略歴・孔子との関係をノートにまとめる。  １本文を音読し，書き下し，現代語訳する。（手引き２・語句と表現１）  ２孟子の性善説について理解する。（手引き１）  ３孟子の論理展開について考え，その説得術を理解する。（手引き２・語句と表現２）  □性悪説を唱える荀子について紹介し，孟子の考え方と比較してみる。（漢文の窓６） | ［知技］  ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。  ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。  ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。  ［思判表］  ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。  ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。  ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。  ［主］進んで孟子の比喩表現を多用した論理展開について理解し，学習課題に沿って，孟子の思想に興味を持とうとしている。 |